

## 平成27年度海外派遣教員を励ます集い

平成27年2月28日（土）

平成27年2月28日（土）に上記の会が、岡山アークホテル1Fレストラン「ラ・ペーシュ」で開かれました。岡山駅の近くで、便利が良く、貸し切りでも良心的な料金のため、本会の行事としておなじみの会場でした。参加者は39名で、今回派遣される11名全員が参加してくださいました。全員参加は最近では無かったことだそうです。全員をこの会でお送りできることは本会にとっても大変意義のあることでした。それでは、以下に会の様子をお知らせいたします。

### 1 会長あいさつ

鳥居恭治会長が挨拶をされました。

「11名もの派遣は近年にはないことで大変嬉しく思っています。今後も先生方と一緒に活動できることを楽しみにしています。また本日の席次は、なるべく同じ地域への派遣経験者の先生方と座っていただいています。ぜひ、歓談の中でたくさんの情報交換やアドバイスを頂いてください。また、各派遣先の子どもたちにしっかりと教えていただき、職務を全うしてください。そして2年または3年後に元気にご帰国されるのを楽しみに待っています。」

最後に27年度派遣の先生方をお一人お一人紹介されました。



### 2 励ましの言葉

森崎岩之助参与に派遣者への励ましの言葉をいただきました。

「日本人学校での勤務経験はありませんが、励ましの言葉を述べさせていただきます。二十数年前（まだ海外への日本人旅行者も少なかった時代）に私は関西地区の派遣者選考委員でしたが、そのときに岡山県の教員の優秀さがよく分かりました。教員にとって、海外派遣ほどよい研修はありません。ぜひその経験を帰国後に生かしていただき国際教育を深めてください。今後も少しでも皆さんの活躍を応援したいと思います。」



### 3 乾杯

派遣教員の益々の発展と活躍を祈念して、武泰稔参与に乾杯のご発声を頂きました。

#### 4 派遣者から一言

##### 船曳文洋先生

船曳先生は、岡山市教育委員会からシニア派遣としてコロンバス日本語補習校の教頭として派遣されます。

「以前はバンコク日本人学校に勤務していました。今回の文科省面接では派遣者の希望の少ない地域へ派遣してほしいと伝えました。子どもたちが困っているところで第2の人生を捧げたいと思っています。コロンバスへ行くということに不安はありましたがよい所であると聞きし安心しました。現在は家の片付けが大変ですが、コロンバスの約550名の子どもたちが待っていると思うと4月が非常に楽しみです。」



##### 三好隆志先生

三好先生は、岡山市立津島小学校からシニア派遣としてシンガポール日本人学校へ派遣されます。

「この壮行会で、写真（編集部の役職として）を撮っていないということが変な感覚です。（この後シニア派遣について説明していただきました。）今年度は前年度よりも派遣が増え、約460名もの文科派遣がいます。それに伴いシニア派遣も増えています。先生方もぜひ挑戦していただきたいと思います。またこの壮行会へ派遣者11名が全員来てくださったことが嬉しいです。また帰国したら皆で集まりたいと思います。」



##### 岡崎純子先生

岡崎先生は、シニア派遣として釜山日本人学校へ派遣されます。

「初めての海外派遣です。先ほどの励ましのお言葉では『張り切りすぎないように』とアドバイスを頂きましたが、できる限り現地の子どもたちのために頑張りたいと思います。釜山日本人学校は約40人の教科担任制小規模校で、私は国



語と技術家庭科の専科ということが決まっています。教材研究では、教材や時間の確保が少々不安ですが3年後に笑顔で帰りたいと思います。帰国者報告会でもよろしく願います。」

#### 岡村富広先生

岡村先生は、岡山市立幸島小学校からニュージャージー日本人学校へ派遣されます。

「派遣先はニュージャージーでよろしいでしょうか。と聞かれ、最初はニューデリーではないかと思い聞き返したくらい。ニュージャージーは岡山からの派遣もいらっしゃるので岡山県人会を作れそうです。25年前にデュッセルドルフ日本人学校で勤務経験があり、再び夢を叶えることができ嬉しい反面、校長としての職責を全うできるのか毎日自問しています。アメリカを肌で感じ、還元していきたいと思います。」



#### 柳川篤先生

柳川先生は、赤磐市立山陽北小学校からプラハ日本人学校へ派遣されます。

「児童・生徒数が約100名の学校です。赴任先が決まり、家族を同行するかどうかについて考えたこともありましたが、現地には、学校に通っている児童・生徒がおり、また、その家族の方も暮らしていらっしゃいます。そう考えると、その迷いは自然と消えました。日本人学校での勤務では、真摯な態度で、そのときだけではなく、今後につながるような関係を出会う全ての方々と築いていきたいと思います。」



#### 井上良平先生

井上先生は、小田郡矢掛町立山田小学校からシンガポール日本人学校に派遣されます。

「1月に行われましたオリンピックセンターでの派遣者の研修で仲間と話をしていく中で、本当に派遣されるんだという実感が湧いてきました。シンガポールでは子どもたちとともに学び、岡山に帰ってきたときに



は、その経験をしっかりと還元していきたいと思います。帰国後もよろしくお願いします。」

#### 田中基羊先生

田中先生は倉敷市立西中学校からシンガポール日本人学校に派遣されます。

「この会に参加して、温かい雰囲気のおかげだなあと感じました。今は進路指導主事をしていますが、現地でのそういった情報もしっかりと把握していかなければなりません。また、夏に行われた厳しかった面接を思い出し、合格を頂いたときの『頑張らなくては！』という気持ち、そして子どもたちを育てていかなければという気持ちを改めて強くもっています。皆様に支えられて頑張っていきたいと思います。」



#### 三宅聡史先生

三宅先生は、倉敷市立多津美中学校から天津日本人学校に派遣されます。

「教員になったときからずっと日本人学校で勤務することを希望していました。妻と地図を見ながらどこになるかと楽しみにしていました。最初に天津と聞いたとき、『甘栗のところですか』『天津飯のところですか』と聞き返してしまいました。周囲の反応が微妙な感じで、遊びに行くねと言われていた言葉も最近ではあまり聞かなくなりました。しかし、私は喜んで引き受けました。妻も『あと3ヶ月！』と仕事を頑張ってくれています。子どもたちの力になりたい。そして岡山に貢献したいと思います。また中国での剣道の普及も頑張りたいです。」



#### 安東奈美先生

安東先生は、岡山市立高島小学校からサンパウロ日本人学校に派遣されます。

「日本人学校は様々な地域からいろいろな考え方を持った先生方が来られます。その点では難しい所もあるとは思いますが、謙虚に柔軟に対応して行けたらと思っています。そして子どもたちのために頑張りたいと思います。皆さんは南米と聞くと心配されますが、私はサンパウロと聞いて、『やったー、チャンスだ！』と思いました。私は大きな病気もせずに30年間元気に過ごせているので海外でも健康に気を付けて過ごしていきたいと思っています。」



### 保都沙也加先生

保都先生は、美作市立美作中学校から高雄日本人学校に派遣されます。

「面接で『タイミングは今が最適な時期ですか？』など厳しい面接内容ではありましたが、『はい、今です！』と自信をもって返答し、無事に採用が決まりました。決まったからには、この先の人生やりたいことをして楽しもう！と心に決めました。学級経営や生徒指導に頭を悩ませることもあり不安にもなりましたが、皆様方にも助けられ今があります。現地にいる子どもたちを大切にしていきたいと思っています。そして元気に行ってきます。」



### 段堂雅信先生

段堂先生は、苫田群鏡野町立南小学校からカイロ日本人学校に派遣されます。

「エジプトと言えば、熱い場所、スフィンクスなどですが、最近ではテロなどの危険なイメージが先行しています。最近ではそういった現地の情報がインターネットで見ることができるので大変助かっています。日本では一回の爆発が大きく報道され危険なイメージですが現地では毎月どこかで起こっており、あまり大きく報道されていないようで日本と現地の捉え方に違いを感じています。夏では 50℃を超えるようで、寒いところが嫌いな私たちも少々不安です。安全には十分に気を付けて行ってきたいと思います。」



## 5 閉会あいさつ

閉会のごあいさつを栗坂祐子先生よりいただきました。

「日本人学校には児童・生徒がおり、その後ろには保護者がいらっしゃいます。派遣場所はそれぞれ違いますが目的は皆同じです。頑張ってください。異国の地で授業を行うということは教材や環境が必ずしも整っているわけではなく、国内で授業をするのとは全く違います。うまくいかない中でどう工夫するのが面白く、充実感があります。食環境・住環境はどうかなと思います。教育の情報が全てではないかと思います。もし必要なものがあれば本会までご連絡ください。みんなで協力していきましょう。皆様のご健康とご活躍を祈念して閉会のごあいさつとさせていただきます。」

